

G E O F O R U M 2 0 0 3 i n S H I Z U O K A

ジオフォーラム 2003 静岡

実務技術者のための地盤調査とその評価

●平成15年11月7日[金] ●しずぎんユーフォニア
静岡県地質調査業協会・地すべり対策技術協会 技術フォーラム

ジオフォーラム2003静岡

静岡県地質調査業協会・地すべり対策技術協会 技術フォーラム

～実務技術者のための地盤工学と地盤評価～
事業発注者を含む技術者(土木・建築・地質・地すべり)の技術向上と
技術者・技術の交流

はじめに
太田川は、天竜川と大井川のほぼ中間に位置し赤石山地南端部の標高800mの山地より南方に流下して太平洋に注ぐ流域面積488km²、延長43.9kmの二級河川である。太田川ダムは、河口より3.5km地点の周智郡森町巻久保地先に建設される、洪水調節、治水の正常な機能の維持および遠州広域水道用水の供給を目的とする多目的ダムである。調査は昭和51年度、平成元年度から建設
現在の進捗状況は、本体関係では、転流工
た、村野県道については森市街地からダムサ
と橋区間も平成15年12月に供用開始予定
中である。
ダム周辺の地質構造としては、中央構造線
駿河帯・秩父帯・四万十帯がほぼ南北に帯状
に分布する。四万十帯は光明川
に区分され、ダムサイト周辺は古第三紀粘
土質層、砂岩・頁岩からなり海底地すべり地帯
とされる。一般的に北東-南
本報告では、太田川ダムダムサイトの地質
調査結果等設計に反映した内容



- 10:10~10:35
- 10:35~11:00
- 11:00~11:25
- 11:25~11:50
- 13:00~13:25
- 13:25~13:50
- 13:50~14:15
- 14:30~16:00

プログラム

- 「太田川ダムの地質調査とその評価」
戸田 晃裕 静岡県太田川ダム建設事務所 工事課
- 「設計における変形係数の適用について(深礎杭のケース)」
黒柳 喜春 (株)建設コンサルタントセンター
- 「地盤の透水性定数を求める新しい調査方法の試み」
大畑 文昭 (株)中日本コンサルタント
- 「地盤調査へのお願い(主に橋梁設計事例から)」
押尾 泰寿 服部エンジニア(株)
- 「大規模農地造成における地すべり対策」
田村 誠司 志太榛原農林事務所 農地整備課県営整備係
- 「地盤調査報告書の読み方」
白鳥 正浩 (株)ジーベック
- 「静岡県下における岩盤区分と原位置試験結果」
初倉 紀久 (株)建設基礎調査設計事務所
- ◆ 特別講演 ◆
「斜面安定の評価(仮題)」
奥園 誠之 九州産業大学工学部土木工学科教授